

第5回丹波市自治協議会のあり方懇話会概要

日時：平成31年1月24日
 場所：柏原住民センター
 会議の詳細は
 丹波市ホームページ



第5回丹波市自治協議会のあり方懇話会を開催しました。懇話会では、前回までの議論を振り返り、中間報告書に関する議論を行いました。また、地域課題の解決を考えるなかで、拠点施設の維持管理や修繕、担い手不足や活発な活動に向けて、地域に女性が参画してもらえるためにはどうしたらよいかなど活発な議論が展開されました。



◎中間報告書（素案）について

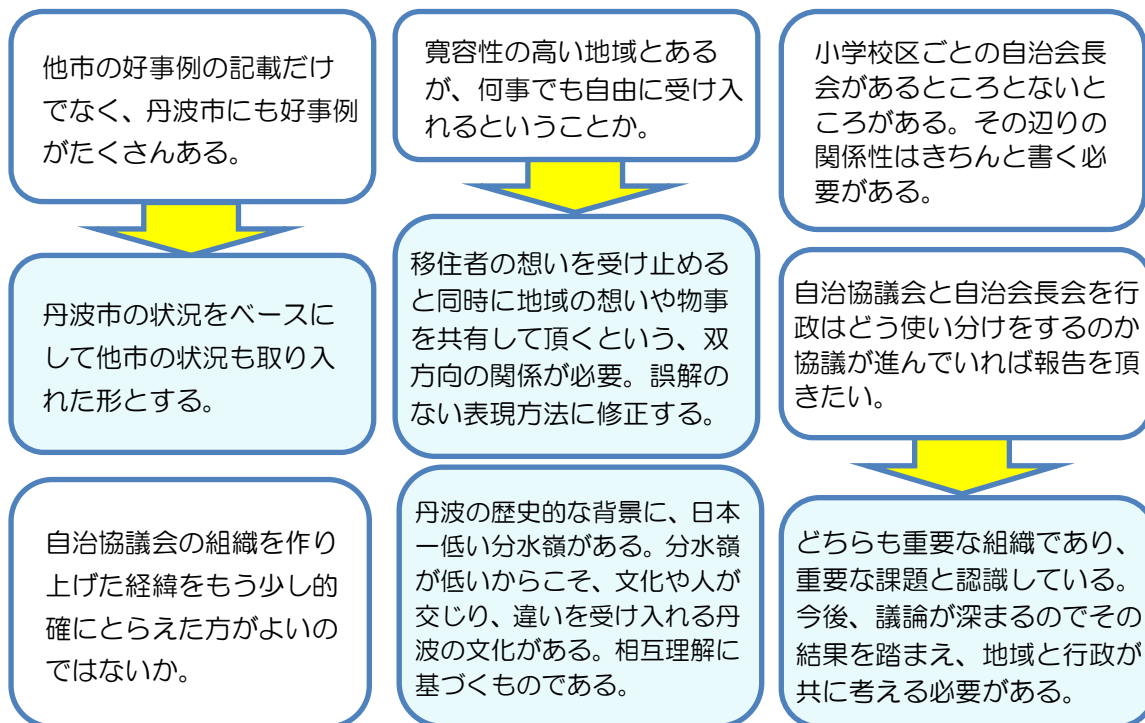
平成30年6月に第1回丹波市自治協議会のあり方懇話会を開催し、委員18名で主体的に地域課題を解決できる多様な力を醸成するため、組織運営及び住民自治活動を推進する施策を検討し、市民の共通認識を図ることを目的に議論を進めてきた。全10回の懇話会の内半分の5回が終了し、これまでの経過を丹波市長に中間報告書としてまとめ報告をする。

■これまでの議論により整理した自治協議会のあり方とは（中間報告書より一部抜粋）

市民が住み慣れた地域に安心して住み続けるためには、地域それぞれに求められる日常生活に必要なサービスを行政や事業者によるものだけでなく、住民自治によって住民相互に顔が見える距離感の身近な住民組織を目指す必要がある。

そのためには、「参画と協働の指針」に基づいた地域自治組織や市民活動支援等の施策・既存制度等を土台にして、条例に示される地域自治組織（考え方の一例として小規模多機能自治）をイメージしながら、それぞれの地域の特性を活かし、現状や課題、担い手などを踏まえた自治組織を形づくるための仕組みや仕掛けを考えていくことが重要であるということ。

【委員からの主な意見】



◎拠点施設の今後の修理修繕・維持管理についてどう考えているのか？

■拠点施設に係るアンケート（維持管理費等）より

- ・6割の自治協議会で、維持管理費が交付金の算定基準以上を自主財源で充てており重荷である。
- ・約7割の自治協議会で会館使用料を充当している。それでもなお維持管理費がかかっている。
- ・施設改修に係る積立を4割強の自治協議会でやっているが、利益を生む団体でないため難しい。

【委員からの主な意見】

修理・修繕に向けて積立
をしている。適正な修繕
計画を持つ必要がある。

活動交付金の施設維持
管理費の積算方法を見
直してほしい。

施設が大きいため、市の
補助に頼らなければ修
繕できない。

◎男女共同参画について

- ・女性の役員がないという問題点について、市内の女性が上手く参画している好事例を共有した。また、女性が参画出来ていない理由や課題点を協議して、それを解決することで共同参画ができるという視点で議論を進めた。

【現在女性がいない理由・課題点】

- ・女性は地域の情報を仕入れる手段が少なく、いきなり1人では活動に参加できない。
- ・女性では行い難いことを男性がサポートする体制が大切。
- ・会議の時間帯の工夫や役割分担など女性が参画しやすい配慮が必要。
- ・男性の役割、女性の役割という固定的な考えが残っている。
- ・育児、家事、介護が忙しく家族の協力がないと役員を担うことはできない。
- ・世帯の代表（戸主）という、今後も男性が出てくることになり、女性の意見が反映できる環境がない。

【好事例・意見】

- ・自分達で担いたい行事や活動をできるという機会と雰囲気づくりが必要。
- ・子育てに忙しくても活動している方がいる。意思があれば上手く両立されている。
- ・地域で活躍する女性も多い。役員はできなくても、手伝いはできる方はいる。
- ・女性が参画することで、イベントに女性が来てくれるようになった。
- ・自治協議会の役員の半数は女性となるようにしている。
- ・必ず女性の役員を入れることを決めている自治会もある。
- ・女性が会議に入っても、率直な意見を聞く環境ができています。
- ・地域に育ててもらったという気持ちがあるから、自然に地域の活動ができています。

